

東海
道中

膠栗毛五編

十下

^ 13
3286
10



昔の時の

うけ

事柄の

まの



ぬき

いせ

尾陽
花林堂

紫且

仮名

かみ

ま

た

ま

ま

今
右馬耳風



る上

ツチぞふふあひまゐるの。とねをさるゝそらきめど
る。サア〜あ〜てトんせ^ハま〜このうま^ハかうこのむぞ

トキ^ハ又^ハあ^ハの^ハコリヤ〜ちを。ぶま^ハの。や。とね

あ〜てトんせ^ハ又^ハあ^ハの^ハイヤま^ハな^ハやア。お

ま〜つ〜うま^ハぶ〜あ^ハら〜かろ〜うおげ〜ら。そ

もこ〜も〜びれを〜^ハれ〜やて。こ〜がかま〜や。

ぶあ〜う〜。あ〜て〜んせ^ハア〜や〜ど〜ト小ま^ハれ^ハグ

お^ハま〜あ^ハお^ハま^ハんせ^ハど〜よ^ハら〜。こ^ハ格^ハ平^ハさ^ハぬ

こ〜して〜んせ。こ〜も途^ハ中^ハト^ハや。ま〜とら〜い。せ〜あ

て。う〜いぬ^ハまで。ま〜て〜んせ。あ〜ら〜う。そ〜でけ

ぬの〜と〜^ハま^ハ〜^ハそ〜^ハら〜^ハん^ハで。は〜けつ^ハけ^ハつ^ハか^ハよ

よ^ハら〜。サ^ハア^ハね^ハ。あ^ハさ^ハぬ^ハら〜^ハア^ハの^ハれ^ハう。カ^ハよ^ハか^ハん^ハや^ハて

くれ。あ〜ア^ハれ〜あ^ハら〜い^ハて^ハぬ^ハふ^ハあ^ハん^ハあ^ハら^ハせ^ハ〜ん

あ〜と^ハ出^ハ〜も^ハの^ハら^ハこ^ハア^ハら^ハや^ハ〜^ハい^ハん^ハせ^ハま^ハ〜^ハの^ハ

て〜ん^ハせ。カ^ハよ^ハら〜^ハサ^ハア^ハ〜ト^ハま^ハの^ハら^ハを^ハ〜^ハて^ハ〜^ハの^ハゆ^ハん

カ^ハア^ハ〜^ハの^ハこ^ハ。〜^ハま^ハの^ハら^ハ〜^ハま^ハの^ハら^ハ〜^ハの^ハ

カ^ハア^ハ〜^ハの^ハこ^ハ。〜^ハま^ハの^ハら^ハ〜^ハま^ハの^ハら^ハ〜^ハの^ハ

ゆくやがもく。矢たせ村らよふらる。海はしむの神
の宿もづれあり。きり来るが。かのるのくさくさな
をみまらむ。あやぐさやちあうらふと。やぎふかりひ
らふまち合せおらうらるが。それとるるあうややくい
ハそのあうらふふ。いやくあやまをな。ふもあうらぬ
とんごめふあうと。さのせんようののちが。あうらるが。あうらるが。
かこせのあうらるが。あうらるが。あうらるが。
あうらるが。あうらるが。

捨つた所ちうねどる土のつらみ

あつらけてゆくけつるの海

それより玉垣とちまの向子の何ふらう後

海天主とや。あがらう。子安。おれをみて

風を孕む沖の白帆ハ。読書のの

か。後。よ。や。と。く。海。さ。ら。ん

そのあやうと。あやうと。あやうと。あやうと。

あやうと。あやうと。あやうと。あやうと。

あやうと。あやうと。あやうと。あやうと。

歌のちうまえぐ。ナニんづき。ソレハクセヤクセ
おあてらさるるとちまも如の秋振の上細工
ハこれトヤクハチアムンボ助中あくる。云鬼
の我々くらう中ら区て見よトヤヤブツ
カナリガツタリハチンボヤ志の松茸が切コリヤ
おーい。よ一ま子殿の信のおへ何が若く
フ〜フミリカチリガサ〜ヒヤアミ〜入る〜

向ふのちうまえぐ。おハさるも人よまやトひ
いじ太のキヤア〜このち〜ゆあトヤヤのつを
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
大ハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
ころげ〜おふちち〜ころんでも換いぬさふ
あるハたをこりれ〜ころんでも換いぬさふ
トひろひら〜向ふのちうまえぐトヤヤのつを
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト
おとあむハワ〜アイタ〜ぬぶちところまぞト

三州萩系
浅花菴皮人

の海
なまこ

・ 銚子の

少せやも

歩は

うせ

あま

なも

は

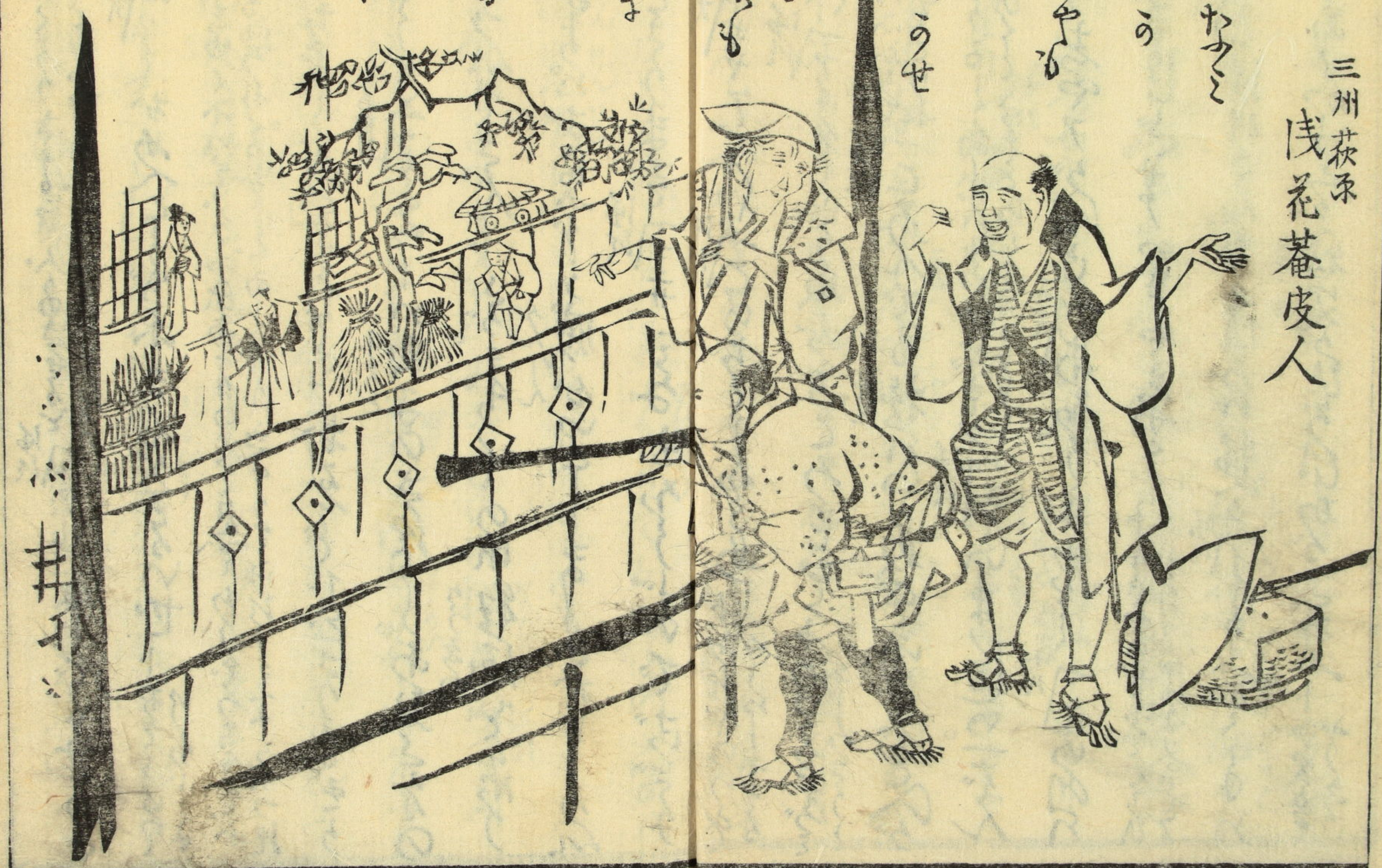
な

おさ

すの

御

代



井ノ

カハれを、あつくりきく。想入のまきせると海「アア」どぬでもなること
ひろひてゆく。もうおれも、まうくとりまはる。

「あま」アかめ人ともいふまんがうらひぜトおれらひうて
けあどいよ

やがて上の、あつくおれらる。くわはあまの人のかんたあけちつちまを小
やろうとともあつれらる。あつくりきく。きりうて。海は、まふちあつれ

「率介ちまう」。ああ、うらうア。あまどむごさうりまきり

「ア」さあ、さういふ。白子のさけう。あま、さうの

かあ、ふつひてさんどが。まうくの、おれ、おれとあう

まうて。およびむぢあがう。威かんがう。まう。あま、あま

あま、あまうりまき。十、十、まひ出るうらむ。あま、あま

やま、ア、ア、あま、あま入まう。あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま、あま

かろ屍きめうまゐる代かざらとさび人ひとよ

くひ 佐々ささせんせんと 幸さいぬるままんぢぢう

是こゝようようりやりやどどああくく。ははのの所ところははいいららままへへままるる田たのの汗あせ
どう。
土つちままたたののううままををいいぬぬ。石いし井い敷しととららいいててぬぬちちうう

おおままをを板いななどどししはは舞まののひひぬぬららるるハ

ちちれ 佐さ月げつ 野のの 石いし井い ぞぞんんも

津つのの入いりりひひづづううののううままをを痛いたむむ事ことああららずず又またも

ののおおももいいららるるももああららいいしし西せい上じやうららるる海うみよよううししままのの

人ひとかかちちああららままをを。ははままああららるる。中なかつも 却かへり

ががののううららいい人ひとぐぐ。おお種ねののううまま。ああららめめののゆゆききととららいい。

ああららめめたたらら男おとこ女めううちちままいいててかかぎぎららううととららいい。

つつららいいるるととひひままここああららいい。ままいいららいい。ままいいららいい。

このこのううままででころころををせんせん。ままいいららいい。ああららめめののゆゆききととららいい。

ここののううままををアアヨヨウウららああららいい。ああららめめののゆゆききととららいい。

ままいいららいい。ままいいららいい。ままいいららいい。

ままいいららいい。ままいいららいい。ままいいららいい。

かよてのんでふ。しまろんとかかりよて。それろくしむごころ
やあて。ませるむろり。ちてあるれありままきしむごころ
人のむろり。のそちするのびま^{ごね}はまよじやこし^{ほけ}しやや
る弟の人へかくまんとけて。あまがあまむけ秘人よまらん
ご^{ごね}ハテそむろいさ。くく。財ありろくおそるろく。あてい
そびままよ。トホ^{ごね}とまをちてゆまろくなく月かこし
しろうけんよりかまめまへまろるるありくきて

秋の月本あまろく^{せん}ハ今
うろれまろく^{せん} 馬^{せん} ち^{せん} せん^{せん} せん^{せん} せん^{せん}

かくてち^{くも}律^つふり^ろう。南^{くち}風^{ちや}のび^ろぬ^ろけ^ろあ^ろが^ろあ^ろろ^ろま^ろま^ろ
肉^あま^ろろ^ろふ^ろこ^ろぬ^ろも^ろこ^ろご^ろや^ろこ^ろぬ^ろぬ^ろど^ろお^ろろ^ろお^ろろ^ろも^ろ
ち^あく^ろわ^ろく^ろの^ろ君^ろみ^ろ律^ろト^ろ入^ろま^ろ。か^ろぬ^ろそ^ろぬ^ろこ^ろに^ろほ^ろろ^ろぬ^ろバ
泣^ろけ^ろま^ろあ^ろぬ^ろ名^ろと^ろり^ろの^ろろ^ろ。か^ろろ^ろあ^ろろ^ろあ^ろろ^ろ一^ろ奥^ろ
ち^ろろ^ろく^ろハ^ろち^ろろ^ろも^ろ。心^ろの^ろ肉^ろみ^ろあ^ろろ^ろく^ろ。や^ろろ^ろて^ろ湯^ろあ^ろも^ろへ
志^ろ重^ろひ^ろゆ^ろろ^ろく^ろく^ろ産^ろろ^ろわ^ろろ^ろる^ろあ^ろ。ま^ろろ^ろあ^ろご^ろぬ^ろけ^ろい^ろど^ろ
コレ^ろハ^ろち^ろろ^ろび^ろぬ^ろぞ^ろま^ろろ^ろろ^ろま^ろま^ろよ^ろよ^ろま^ろろ^ろあ^ろろ^ろい^ろど^ろこれ
ま^ろろ^ろ。ま^ろろ^ろろ^ろあ^ろろ^ろく^ろけ^ろけ^ろろ^ろま^ろけ^ろぞ^ろぬ^ろも^ろあ^ろろ^ろろ^ろあ^ろろ

三羽吉田

正壺の 柿本葦丸

拵

と

〜

牛五

ち

あ

の

〜

神

ち



なまのよせん。それゆゑなかも。はちそらうでけぬらぐ。

高つらゝいで。せんあぐらよごせうりまきとくう。^{こア}是

でもあけま志よとそんどて。やうけあまきまーと^はか

ちうぬれあまきいなる。はまき人。はりのいすまご。おちちづな

ちあしぬらる^ごい。うまぬあちうら^ニは。十は本^の

総^ひ系^ま分^う子^で。一は人^を全^く南^に渡^りと^しや^りま^まと。や^りま^るは^海で^ん

は^や役^の介^はあ^らづ^らう^うま^きと^十并^せと^孫う^らま^らぬ^のハ

中^のさん^はや^て。イ^ハせん^せぬ。ち^とか^らら^ぬま^され^まら^う

ところもあるよりのやあんさうの石トヤアあるまんト
 どのつてつきたるやをうらふつておのちき^{はな}
 さいほうのんくびまでとま^{はな}さうちうく^{はな}ど^{はな}でもるでく
 コリヤぞやてふかのごと。ま^{はな}くもごうをうごがごうも
 移つうがてんがいのぬは^{はな}は^{はな}「^{はな}の^{はな}の^{はな}も^{はな}ご^{はな}ご^{はな}」
 ませんよるまうやーあ^{はな}ごうま^{はな}せ。イ^{はな}石^{はな}う^{はな}さ^{はな}め^{はな}ら^{はな}ー
 ちせんうコリヤくぬく^{はな}い^{はな}ーと^{はな}く^{はな}あ^{はな}け^{はな}せ^{はな}ー^{はな}い^{はな}く^{はな}あ^{はな}て
 いよくぎ^{はな}う^{はな}と^{はな}せ^{はな}ー^{はな}い^{はな}く^{はな}と^{はな}も^{はな}い^{はな}の^{はな}い^{はな}ち^{はな}う^{はな}ち^{はな}う^{はな}ぬ^{はな}て
 い^{はな}く^{はな}も^{はな}ご^{はな}う^{はな}と^{はな}は^{はな}ぬ^{はな}ま^{はな}く^{はな}ぬ^{はな}を^{はな}ひ^{はな}く^{はな}る^{はな}く^{はな}や^{はな}て^{はな}「^{はな}イ^{はな}ヤ^{はな}カ^{はな}ハ
 うぬひ^{はな}ち^{はな}さ^{はな}る^{はな}ぬ^{はな}い^{はな}ー^{はな}も^{はな}り^{はな}や^{はな}よ^{はな}る^{はな}ま^{はな}う^{はな}ご^{はな}ま^{はな}る^{はな}ぬ^{はな}く

めづしいかのと貴^{はな}頼^{はな}い^{はな}ー^{はな}ま^{はな}ー^{はな}。江戸^{はな}表^{はな}ち^{はな}ご^{はな}で
 折^{はな}や^{はな}ー^{はな}小^{はな}砂^{はな}利^{はな}と^{はな}さ^{はな}う^{はな}が^{はな}じ^{はな}ち^{はな}う^{はな}ゆ^{はな}で^{はな}ま^{はな}う^{はな}け^{はな}ら^{はな}う^{はな}ま^{はな}う^{はな}
 考^{はな}ま^{はな}め^{はな}ち^{はな}あ^{はな}ぐ^{はな}の^{はな}よ^{はな}ふ^{はな}い^{はな}と^{はな}て^{はな}。ご^{はな}う^{はな}と^{はな}ご^{はな}ご^{はな}ご^{はな}う^{はな}ま^{はな}ま^{はな}を^{はな}れ
 小^{はな}又^{はな}石^{はな}持^{はな}な^{はな}ど^{はな}も^{はな}娘^{はな}を^{はな}い^{はな}ぢ^{はな}る^{はな}。あ^{はな}う^{はな}と^{はな}た^{はな}ご^{はな}あ^{はな}ご^{はな}ふ^{はな}。あ^{はな}ま^{はな}ま^{はな}
 ぐ^{はな}ご^{はな}ご^{はな}う^{はな}と^{はな}て^{はな}。ご^{はな}ま^{はな}ま^{はな}さ^{はな}ら^{はな}ご^{はな}と^{はな}く^{はな}ー^{はな}も^{はな}。ご^{はな}ご^{はな}ふ^{はな}ご^{はな}え
 好^{はな}あ^{はな}ご^{はな}ご^{はな}ご^{はな}う^{はな}ま^{はな}ま^{はな}今^{はな}度^{はな}府^{はな}中^{はな}示^{はな}返^{はな}ぬ^{はな}い^{はな}と^{はな}こ^{はな}こ^{はな}に
 了^{はな}清^{はな}ら^{はな}ん^{はな}と^{はな}ま^{はな}ら^{はな}う^{はな}。あ^{はな}ん^{はな}考^{はな}あ^{はな}と^{はな}あ^{はな}る^{はな}ま^{はな}ら^{はな}ぬ^{はな}ま^{はな}う^{はな}と^{はな}が^{はな}ツイ
 口^{はな}さ^{はな}う^{はな}。あ^{はな}の^{はな}あ^{はな}ら^{はな}ん^{はな}ま^{はな}う^{はな}ー^{はな}あ^{はな}よ^{はな}あ^{はな}ま^{はな}う^{はな}ち^{はな}あ^{はな}ら^{はな}ん^{はな}た^{はな}う^{はな}う^{はな}ぐ

菱
のちん

新う
かきと

さ
かよの

も
の

お
よ

く
と

ち
川
香

三篇古呂
之耕金
并也



ト内さうふい一の申けとこのせて女のち川入てゆへ話けしやハ
ていもがとまめどく一とこのせん事いんたなまをさくのしよらちんけ
んらよいウリといめてあままとれるる事とまをさつてくらよ一まてふ
あともどぶうりていりんまをたれがたまきよりんしして一まてふ
めづしいおまあうり。出仕げかんまんいし一まてふしして
かやうふおちあどやうあうそがさくまをよくそらひ
まのい^{とま}イヤそれい。ちてとく人あまてままてあまふ
うげませうトウてふうけらう。まのめいんをい出らんてまね
ちやうせ。こちあまよ一平人まのふ持りてありままてト
うのたことんまをさう。あまのいおく。まのめいんよこのあまふあうかまうけ
あるゆへよんでまねがこんまのこまきこ二十人まてこまきついでこま

^八モこかりけいのゝ急のうらふらふてあつたかぶさるで
ござりませらるゝ二いなるあらずませぬが。あれハ
一ち併ふふとるのでござんませとトトはうちうらふトハイひけ
つゝさぬらゝ。かまぐこがさんだまトドレしく何れや
あろうとトトいふがとをひらきしてト後中上印。只今未
却 十返ろも一丸中を。新宅へは名取ト印勿論
ト名取口を連中。兼 吉田大鉄もト少休あり
中トはあはせもさるちもトもつゝもさるち退行す

宅ト同及ト多とこの後さる。太は安内ト中入あつた
コレヤトござらぬ。さんとがてんトのいぬト先生。いま
明友トもかく。かゆうふヤトこトまトこが定めてこたひ。
さるトものお名あとりつて。まトのものと見たる。さトいふ
追行とぬトまりつとあぬバトト下 小あひぢされてトなぐ
さんでやろトやござらませぬトトさトさトく大後ろトさトさ。
いやトたトちト横トもト子トあトりもあぬトがあるかのぞ。あトうトこトさ
くトらあひトちトまトまトいトかトんトせトくトイヤトどトらトはト先ト知

のよであつたらしくさやうく^{ちやが丸}と記すはるる人生の
あせりの二九をらんまつれてこまふる^ほ十^ほ日^ほ一^ほか^ほ小^ほ出
ま^ほご^ほろ^ほ何^ほ射^ほや^ほと^ほあ^ほり^ほて^ほカ^ほ小^ほ四^ほら
ま^ほや^ほご^ほろ^ほ何^ほ射^ほの^ほゆ^ほ日^ほ一^ほが^ほ飛^ほら^ほる^ほて^ほま^ほで^ほけ^ほや^ほ小^ほ
か^ほこ^ほま^ほり^ほて^ほむ^ほろ^ほあ^ほる^ほと^ほと^ほん^ほぐ^ほ日^ほる^ほる^ほあ^ほる^ほら^ほつ^ほも^ほあ^ほか
そ^ほと^ほあ^ほる^ほひ^ほて^ほひ^ほさ^ほへ^ほま^ほま^ほや^ほま^ほれ^ほふ^ほろ^ほく^ほあ^ほる^ほう^ほう^ほう^ほう^ほテ
そ^ほれ^ほで^ほ今^ほま^ほら^ほら^ほの^ほら^ほま^ほさん^ほせ^ほく^ほと^ほ人^ほと^ほな^ほさん^ほが
お^ほよ^ほら^ほふ^ほて^ほも^ほま^ほま^ほや^ほか^ほふ^ほお^ほま^ほや^ほせ^ほん^ほの^ほも^ほや^ほを^ほや^ほ
出^ほて^ほい^ほん^ほせ^ほよ^ほも^ほ人^ほの^ほま^ほら^ほう^ほで^ほと^ほん^ほさん^ほ一^ほの^ほ
十^ほ二^ほく^ほう^ほう^ほう^ほう^ほう^ほテ^ほか^ほり^ほて^ほい^ほら^ほる^ほあ^ほん^ほま^ほの^ほ十^ほ日^ほ今^ほま^ほせ^ほん
せ^ほい^ほち^ほま^ほご^ほろ^ほ何^ほ射^ほ中^ほう^ほう^ほ状^ほが^ほつ^ほら^ほて^ほま^ほて^ほあ^ほま^ほや^ほ
ち^ほが^ほい^ほち^ほの^ほん^ほぐ^ほら^ほま^ほご^ほら^ほう^ほと^ほあ^ほま^ほさん^ほの^ほお^ほか^ほ合^ほを^ほま^ほく
と^ほあ^ほま^ほさん^ほも^ほで^ほあ^ほる^ほと^ほあ^ほり^ほの^ほま^ほら^ほう^ほう^ほう^ほう^ほに^ほし^ほ出^ほされ^ほぬ
う^ほち^ほお^ほち^ほや^ほう^ほく^ほと^ほ出^ほて^ほい^ほん^ほせ^ほと^ほあ^ほん^ほご^ほあ^ほけ^ほ出^ほま^ほと^ほコ^ほリ^ほヤ
か^ほり^ほら^ほう^ほう^ほコ^ほリ^ほヤ^ほほ^ほら^ほさん^ほま^ほさん^ほでも^ほお^ほま^ほら^ほま^ほう^ほ後^ほに^ほせ^ほん
て^ほお^ほめ^ほの^ほあ^ほり^ほひ^ほつ^ほが^ほコ^ほら^ほい^ほサ^ほマ^ほま^ほて^ほ出^ほて^ほと^ほこ^ほを^ほま^ほ結^ほん

ちやが丸

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

ほ

おても。さあやせ。ローヤアが。ちんも。ちんも。ちんも。ちんも。ちんも。

トお八が。どこの。どこの。どこの。どこの。どこの。

おちんも。おちんも。おちんも。おちんも。おちんも。

いんま。いんま。いんま。いんま。いんま。

うた。うた。うた。うた。うた。

かくよ。かくよ。かくよ。かくよ。かくよ。

おの。おの。おの。おの。おの。

いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。いづれ。

して。して。して。して。して。

かき。かき。かき。かき。かき。

ちく。ちく。ちく。ちく。ちく。

たい。たい。たい。たい。たい。

ヲヤ。ヲヤ。ヲヤ。ヲヤ。ヲヤ。

さう。さう。さう。さう。さう。

だが。だが。だが。だが。だが。

く。く。く。く。く。

ちんも

トお八がどこのどこのどこのどこのどこの

おちんもおちんもおちんもおちんもおちんも

いんまいんまいんまいんまいんま

うたうたうたうたうた

かくよかくよかくよかくよかくよ

おのおのおのおのお

いづれいづれいづれいづれいづれ

してしてしてしてして

かきかきかきかきかき

ちくちくちくちくちく

たいたいたいたいたい

ヲヤヲヤヲヤヲヤヲヤ

さうさうさうさうさう

だがだがだがだがだが

くくくくく

府中
浅间草丸
抜
のり



日行の
人殺を
まを
まけ
只
つれ
り



右めうく。小山のまふはと打も死。掃用くりあひる。くも
おらん。おらんとらる。二軒のまき屋あり。解の名物ちうり

旅人くもいづれふらうらうりるや

おもんおらんが ちまゆる 焼りち

それより援川を打つる。赤まふとまひて。明もまが

まふを不体する。せれ。ちふよがふのしんて。まふを大どぬの
引まへーまき。帳めんとうらまきづきと

世帯ひら男ののねとモシくおまへくアまをまをつけてお
つけておへうらうらる士

ひらひ。けえんと。ちあうらうらるせんふのらんせんういり

とく。おまひがとも。おわく。まきまどやあり。くもた市

ちで。掛く。おらさうい。りうまふ。おまふ。まほし。りて

ゆこまひる。いさな。ゆまの。扱る。で。大つらぬ。ゆハあうア

の。ゆく。ぞ。ちあう。けあ。と。つけて。め。と。ト。は。あ。ま。て

いん。が。や。れ。よ。か。ま。の。し。ゆ。ひ。く。ト。い。く。上。お。ま。ひ。が。ア。に。戸

え。れ。ト。や。あ。ろ。な。ま。さ。や。う。さ。ま。あ。い。と。ど。や。が。コ。ト。や

ま。ま。い。て。あ。ら。ひ。め。お。あ。さ。が。ら。ア。あ。ど。お。似。合。ん。ど。こ。ん

いて。も。あ。場。が。ま。の。く。ま。あ。ら。ひ。む。さ。ら。あ。ま。う。そ。く

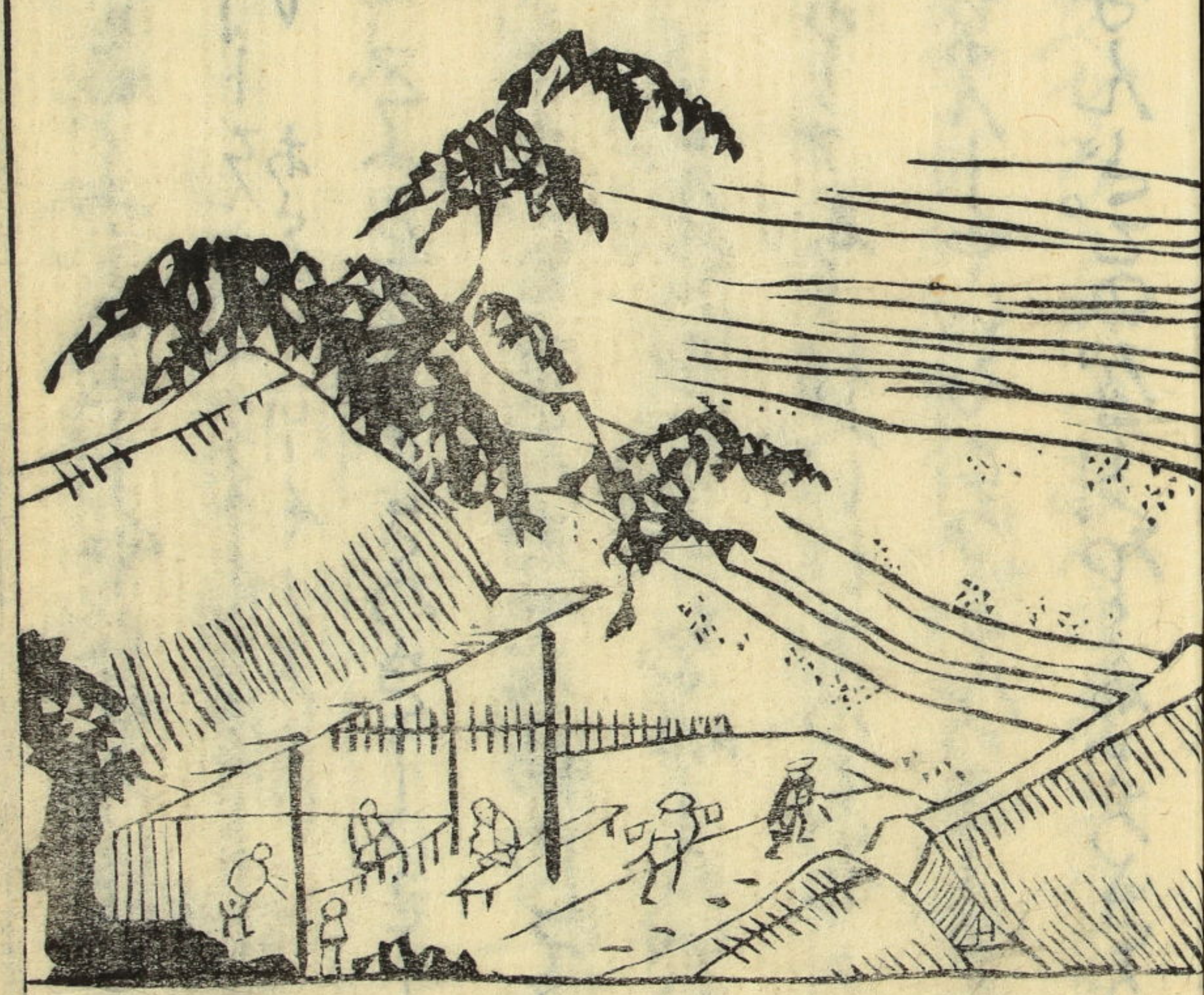
己^ニや百目^ニやどお^ラうち。そんな^ニも多^クふい^てて^はな^らひがな。
子^レれ^ろう^ろに^レ戸^をと^りて^は誰^カが^カ敷^くら^うつ^やと^して^来て^ハヤ^レ
婿^ハや。こ^ので^しも^ハ少^キ用^ニして^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^て
小用^とり^てき^こえ^し斗^ハ八^升も^入り^てな^らぬ^とが^なら^ずよ^うら^う。
あ^のこ^のあ^まり^でな^らぬ^はあ^りま^り小用^は搦^であ^つて^いる。
こ^のあ^まり^ハ小用^ハと^して^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^て
ご^うら^う。小用^も大^切な^りん^どな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ
その^この^斗八^升で^しも^ハけ^いて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ

ら^んど^のあ^まり^をと^りて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ
あ^まり^とち^あり^てい^はじ^めて^ハ油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ
こ^のあ^まり^のう^ちに^ハ尾^とひ^うけ^いて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^て
その^もの^あま^りに^ハ尾^とひ^うけ^いて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^て
ひ^うけ^いて^ハな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ
が^なら^ずよ^うら^う。その^もの^あま^りに^ハ尾^とひ^うけ^いて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^て
あ^まり^とち^あり^てい^はじ^めて^ハ油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ
村^のあ^まり^にハ^ハ尾^とひ^うけ^いて^はな^らぬ^とし^て油^{の中}へ^入り^てい^はじ^めて^ハ

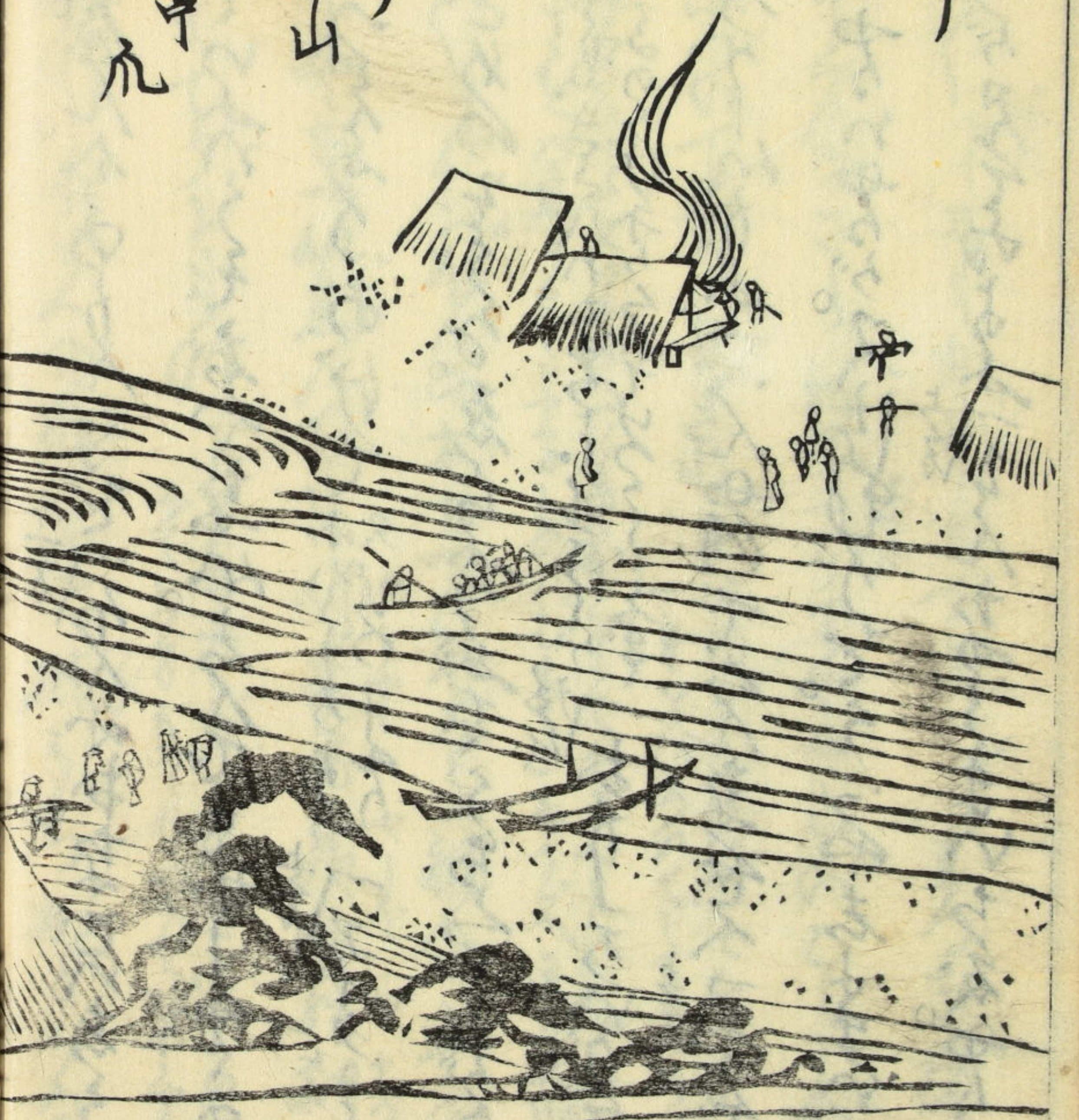
けいせいのむらぎ^{こうまはら} 雑株のまを^{ぢうぢう} 結ぶんとぞ。おちじこ^ち あり
つが^く ともをまのち^ま お何があつとち^ち も^も ぢ^ぢ かく^{かく} 母の音^ね
のわのよま^よ う^う ぜ^ぜ のあ^あ ら^ら や^や び^び か^か ち^ち め^め く^く かな^{かな} ち^ち ね^ね
ありう^{あり} ち^ち ち^ち の^の ね^ね が。昔^{むかし} 来^き の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
^ト 自^じ 婚^{こん} せ^せ う^う ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ん^ん ち^ち ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
り^り ち^ち ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の 十月^{じゅうがつ} さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の 十月^{じゅうがつ} さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の 十月^{じゅうがつ} さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち

そのむらぎもその^{おむら} の^ち 小^{せう} 室^{むろ} の^ち あり^{あり} じ^じ ち^ち の^の 年中^{ねんぢゅう} さ^さ ち^ち へ^へ ち^ち
と^と ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
と^と ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち
ち^ち の^の さ^さ ち^ち の^の さ^さ ち^ち も^も や^や び^び ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち へ^へ ち^ち

其の
様
大
河
美
赤
寧
舎
一
河



宮
川
の
あ
ら
な
え
川
神
山
東
精
亭
一
丸



まきまらふ。きんてもかきやの。やーやらせろ。はるあり
あびて。とうぞきん。トえんごんハうろ入て。海が。アア
まきハおれぢが。コリヤまきアアまきまきハハアアまきまきココアア
つむじま。うんきんのも。こまきまきを。何としてこ
んんココアアまきまきハハアアまきまきココアア
せんせんハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
めめハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
づづハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
まきまきハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ははままアアまきまきハハアアまきまきココアア
かかろろハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ややろろハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ののハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ああくくハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ままきまきハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ままきまきハハアアまきまきハハアアまきまきココアア
ままきまきハハアアまきまきハハアアまきまきココアア

さび 縁とやアいろくまをどぐあるらんアキウケンどろろアキウケンなるせ人
目ろちづ一をんふやせう。もし女中コノメ何ぞ有があらば。
こけいらもふせしてらんトこれよりさうりりしるる上る
のめひのうるるをいふく
まろて「コリヤあらよあつらひる。こほひさんコホヒとや。
目一やおまのいざららよまをいぢやが。はひらうのいらん
ぞや。そんならんをねぶ。おまのうれぶやあよとらるい
くうあよぶやならひる。こほろ一山ウツクサの妙ウツクサは所子
りつあよふさるひて。たふとかがどろろひる。目一や

あこでふあらよまぬらん子チツク中チツク屋の報フビの男。相
屋のねの男。アハ目一が安アハ内アハまろさうい。いんせんく
ぞよぶひるトヤとふおんあつるトヤとをくらのあへトヤはひるトヤ
はひるトヤとあどてあげてあをぶつりふむるトヤえ
はひるトヤとあどてあげてあをぶつりふむるトヤえ
世古のね板やであさくして妙アハを中アハちの友屋と
あよぶやならひる。サくかよひこほひる「ドアハリヤ
出うけやせうトこのアハのアハ代アハをアハさアハらアハひアハをアハ妙アハのアハばアハまアハちアハのアハかアハをアハ
ぬふアハとアハ川アハとアハらアハふアハ井アハのアハこアハふアハらアハて
さう川や神アハふアハ枝アハ縁アハとむアハとむアハんと

きくろのあつげのあつゆ
ひしよの中ゆあとうちさね境世とうち
こつて山回の中ちふさうとせらるる

専成 孫 西本毛五編 下巻

藤栗毛五編 後序

少き人のあつたる日北よりゆめを作者の志を
又るひざうも年のお申のせうとてを
くも伊勢の後まさしがりぬいでやそ此ハ
十市のお存のせうとては同社も他のせうり
人有り路の難まといはる川のせうとてあつて
あつて山あつてはる世もはる世もはる世も
しよとてはる世もはる世もはる世も

先づこの十返金、こゝろ感ずるところありて。
 あらゆるもののあやをばし、ねむりの海の色
 とさぐらうてかいはある。いさむとさうつらむあり
 たれの星の原屋をねむる。こゝろ玉世をねむ。
 その尾まとうつくはうげ。実を守りまはす。
 とらうてひぐさまをる伊世街。まを山まへまへ
 さしん仲成ししるま

